



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(平成31年)3月5日号 No.1786

目次

■ 2018年のロシアの貿易	1
—日本の地位は引き続き低下—	
■ キーパーソン	9
カザフスタンでマミン新内閣が成立／9	
■ エトセラ	10
「GUAM+日本」投資促進ワークショップのご案内／10	
■ トピックス	11
極東発展省が「極東・北極圏発展省」へ改称／11	
モルドバ議会選、単独過半数の党なし／11	
アルメニアとIT分野での来日就業支援協力／11	

2018年のロシアの貿易 —日本の地位は引き続き低下—

はじめに

ロシア連邦関税局が2018年のロシアの通関統計の概要を発表したので、今号の速報ではこれにもとづき2018年のロシアの商品貿易概況を図表にまとめてお届けする。なお、2018年のロシアの貿易統計については後日、『ロシアNIS調査月報』でより詳細に報告する予定である。

ロシアの貿易統計には、大別すると、①国際収支ベースのもの、②通関統計ベースのもの2種類がある。マクロ経済的な分析を行う上では前者の方が有益だが、商品別や相手国別といった中身を知ることができるのは後者である。以下に掲載する図表のデータは、すべて②通関統計ベースのデータである。

さて、2017年に回復に転じたロシアの貿易は、2018年も引き続き拡大した。2018年のロシアの輸出入総額は6,881億1,510万ドルで、前年比17.6%拡大した。うち、ロシア側の輸出が4,499億6,370万ドル(25.8%増)、輸入が2,381億5,140万ドル(4.7%増)であった。図表1に見るとおり、2017年、2018年と、輸出の拡大が急であるのに対し、輸入のパフォーマンスは力強さを欠いており、これはロシア国民の実質所得の伸び悩みや、ルーブル安の基調などを反映していよう。その結果、通関統計ベースの貿易黒字は、2,118億1,230万ドルへと拡大を見せた。

2018年にロシアの輸出増をもたらした最大の要因は、主力輸出品である石油・ガスの価格上昇である。実際、図表4に見るように、原油と天然ガスは、数量ベースの伸びが小幅だったにもかかわらず、金額ベースでは大きな伸びを示している。液化天然ガス(LNG)は数量自体が50.4%増と顕著